

平成19年度 振興公社 決算報告



相生物産館と周辺施設は平成15年に「道の駅」に指定され、利用客が年々増加している。



6月の定例町議会において(株)津別町振興公社及び(株)相生振興公社の平成19年度決算が報告されました。これらの公社は、町が出資しているもので、地方自治法の規定により事業報告並びに決算書の提出を行うことが義務づけられています。今回、報告があった概要をお知らせします。

当初の事業計画にある森の健康館事業については、津別スキー場が閉鎖(19年3月)となった現状では同事業の推進は困難なことから、町との指定管理者の指定を解除し平成19年10月31日をもって森の健康館事業から撤退しました。

ホテル事業は、これまで平成5年12月から管理運営を開始し、以来14年近くで宿泊利用者15万8千人余り、日帰り入浴利用者は49万2千人を超え来館者累計も68万8千人余りの実績を収めました。

グレステンスキー事業は、昨年度に引き続き5月から10月までの土・日曜日、祝祭日及び夏休み期間中の営業とし、営業日数80日で利用者人数1429人(前年度1443人)と前年を若干下回る実績となりました。

公共施設の清掃・管理事業については、日常清掃業務8施設、特別清掃業務15施設、施設管理業務12施設、公園管理業務6施設、公衆浴場管理業務とすべて計画どおり業務を行ってきました。

これら業務を行うにあたり、森の健康館事業20人、清掃事業11人、施設管理事業19人、公園管理事業14人、公衆浴場管理事業2人、グレステンスキー場2人、総務3人の計71人の執行体制で業務を行いました。

津別町 損益計算書

単位：千円

収入の部	
森の健康館事業収入	77,920
清掃管理事業収入	108,627
グレステンスキー事業収入	1,035
事業外収入	213
特別利益	80
収入合計	187,875
支出の部	
森の健康館事業原価	74,102
清掃管理事業原価	91,548
グレステンスキー事業原価	1,207
一般管理費	17,939
特別損失	5,704
支出合計	190,500
税引前当期利益	△2,625
法人税等充当額	206
当期利益	△2,831

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

津別町 貸借対照表

(平成20年3月31日現在)

単位：千円

資産の部		負債の部	
流動資産	16,414	流動負債	5,594
現金及び預金	9,863	未払金	5,251
未収金	5,878	預り金	137
棚卸資産	673	納税充当金	206
固定資産	10	固定負債	322
有形固定資産	(0)	退職給与引当金	322
工器具備品	0	負債合計	5,916
ソフトウェア	0	資本の部	
預託金	0	資本金	30,000
減価償却累計額	0	剰余金	△19,492
投資等	(10)	前年度繰越剰余金	△16,661
出資金	10	当期末処分利益	△2,831
資産合計	16,424	資本合計	10,508
		負債・資本合計	16,424

平成12年7月に設立以来、主要事業である「相生物産館」の営業は8年目を迎え、平成15年8月には「道の駅」に登録され、来場者も年々増加し、店舗販売事業収入が開設以来の実績を上げ、また、夏季無休の営業を行ったことから前年度比1.7%の増となりました。

公共施設管理事業の部門では、物産館及び周辺施設の管理受託事業は前年同様となっています。

一方、費用面では、人件費を極力抑えて支出の抑制と効率的な運営を図りながら営業を行いました。

この結果、税引前当期利益は195万円、法人税などの税額を差し引いた当期純利益は、135万円を計上することができました。

「相生地域活性化推進協議会・農産部」の緑葉野菜や花卉などの販売は盛況でした。冬期間及びシーズンを通しての販売は改善しつつありますが今後の課題でもあり、引き続き努力していきたいと考えています。ビニールハウスを利用したアスパラ栽培は、収穫も順調に進んでいて、また、14年度から取り組んだブルーベリー栽培も生育に向け移植作業を行い、新たな加工品への研究に取り組んでいるところでは、施設規模の関係から量的に限界の状況になっていますが、今後も作業効率を図り、顧客ニーズに応えられるよう研

究を重ねていきます。

課題は、豆腐製造職人の後継者育成と製造機械の導入で今後検討していかなければなりません。

【施設の管理委託業務と職員配置】公共施設の管理業務は、職員や管理人による巡回、清掃、草刈りなど周辺環境の保全に努めてきました。

職員配置については、そば・豆腐製造販売部門では現行4人体制のほかに平均2人のパート職員を配置、他の部門ではパート職員1名を含む2人に対応しています。

【農産品販売】

【そば・豆腐の販売】

相生 損益計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

単位：千円

収入の部	
店舗販売事業収入	96,727
公共施設管理事業収入	3,686
営業外収入	162
収入合計	100,575
支出の部	
店舗販売事業原価	70,501
公共施設管理事業原価	4,521
一般管理費	23,554
営業外費用	47
支出合計	98,623
税引前当期利益	1,952
法人税等充当額	595
当期利益	1,357

相生 貸借対照表

(平成20年3月31日現在)

単位：千円

資産の部		負債の部	
流動資産	17,409	流動負債	5,090
現金及び預金	11,225	買掛金	0
売掛金	161	未払金	652
棚卸資産	5,710	未払費用	4,263
仮払金	96	預り金	59
未収収益	217	法人税等充当金	116
仮払税金	0	負債合計	5,090
固定資産	4,301	資本の部	
有形固定資産	4,226	資本金	10,000
無形固定資産	75	資本金	10,000
繰延資産	0	剰余金	8,620
繰延資産	0	前年度繰越剰余金	6,620
		別途積立金	2,000
		自己株式	△2,000
		資本合計	16,620
資産合計	21,710	負債・資本合計	21,710